

## 平成31年度事業計画

社会福祉法人 宝成会

宝塚シニアコミュニティ

特別養護老人ホーム

短期入所生活介護

通所介護事業所

訪問介護事業所

配食サービス

介護タクシー

居宅介護支援事業所

西谷地域包括支援センター

加西シニアコミュニティ

介護老人保健施設

通所リハビリテーション

居宅介護支援事業所

## 平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人 宝成会

### 基本方針

今年度は、消費税の関係で介護報酬改定が 10 月に見直しが実施され、介護報酬改定率は 2.13% となり、処遇改善が 1.67% 消費税対応が 0.39%、補足給付 0.06% とされています。特に処遇改善交付金に関しては、介護職の確保が国からも急務となっており改善に繋がればと期待しています。

地域包括ケアシステムは、国、県、市町村も注力しているため当施設も介護予防・日常生活支援総合事業の具体的なサービスの開始等地域に根ざした福祉活動を今後推進していきます。

施設運営においても、夜勤職員配置加算等新たな加算の取得等目指して出来るものは、順次対応追加していきます。又稼働率も今後より一層意識して将来を見据え安定した運営の基盤作りが重要課題と考えます。

介護保険の環境も厳しくなり在宅系の訪問介護、デイサービス等の事業の統廃合が起きていますので、特徴ある地域に根差したサービスの向上を目指し新たな加算等も視野に入れて行きます。

介護職員につきましては、離職者が減りましたが、接遇や言葉使い等においてまだまだ出来ていない状況ですので、研修や会議等で取り組み強化していきたいです。

現場では、全体的な介助時間の見直しや組織の再構築も行い、いままでのやり方を見直し、この状態が当たり前になっていないか？職員一丸となって変革に取り組んでいきたいと思えます。

人材に関しては、ある程度落ち着いていますが、流動的な退職者も出てきますので、人材紹介会社や広告媒体等の活用はもとより、地元地域の人材確保のため自治会連合会へ協力をいただき地域とともに施設運営ができるよう推進していきたいです。

今年度も各事業において引続きスローガンを掲げ、職員が一丸となり業務に邁進する姿勢を高めサービス向上に努めると共に、新たな中期 3 カ年計画の取り組みと課題に向け事業推進を推し進めていきたいと思えます。

職員が前向きに仕事ができる環境をより強く提供できるよう努めるとともに、総合的な自立支援ケアができる施設に躍進していきたいと思えます。

処遇改善では、今年の 10 月に大きく変わろうとしていますので、情報収集

と介護職員以外への配分も考慮しながら適正な給与体系を構築していきたいと思えます。又職員のキャリア形成を明確にし今後も魅力ある職場作りに改善注力していき、職員の介護技術、介護知識の向上を目指しより質の高い職員の育成を目指していきます。

昨年度参加させて頂きました、西谷地区ささえ合え会議等、地域社会貢献をより強固にし、配食サービスの更なる協力や西谷地域に於いては、地域包括ケアを念頭に置き、地域包括支援センターを中心として、高齢者が住み慣れた地域で本人や家族が安心して生活を続ける為に地域福祉の拠点施設として今後共、更なる向上を目指していききたいと考えています。

## 課題

### 1. 社会福祉法人としての社会貢献

- ・地域高齢化福祉への取組として西谷地域包括支援センターを基盤に活動を拡大
- ・配食サービスの運営
- ・地域会議への積極的参加

### 2. 利用者様の主体性・選択性の充実

- ・ケアカンファレンスの充実
- ・総合的な自立ケアの取組

### 3. 施設稼働率の安定と経費等支出の削減で効率の良い施設運営

- ・加算の取得の取組強化
- ・支出見直しによる経費削減
- ・全職員が意識した節約の取組実施

### 4. 職員のスキルアップへの取組

- ・今年度は、基本に帰り 施設理念である
  - ◇「いきがい」のある生活を大切にします。
  - ◇地域との「きずな」を大切にします。
  - ◇「学び考える」ことを大切にします。

を基本に頑張ってもらいます。又今までのやり方「この状態が当たり前になっっていないか」を各自が意識し「できない理由」でなく「どうすればできるのか」を考える力を備える。

- ・計画的な研修体制の確立（医療・接遇・認知症・各種専門分野等）
- ・キャリアパスの確立による人事考課の強化と職員レベルの技術・知識の向上
- ・職員がやめない職場づくりの推進強化

社会福祉法人 宝成会 中期事業計画(案) (平成31年度～平成33年度)  
宝塚シニアコミュニティ

	目標・課題	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経営基盤・財務基盤の構築 特養・ショートの安定した稼働 各事業所の基盤作り	①業務の標準化	組織・役職の見直し 介護業務の見直し基本体系づくり	法人の将来を担う人材の育成 キャリアパスの具体化	専門職等充実 キャリアパスの推進
	②マニュアルの充実	現在のマニュアルや規定見直しと 現状必要な資料整備と作成	マニュアルの標準化	個別マニュアルの充実化
	③特養稼働率 短期稼働率	稼働率:96% 稼働率:100%	稼働率:96.5% 稼働率:96.5%	稼働率:97% 稼働率:97.5%
	④通所介護(デイサービス) 利用者数	18名(定員25=70%)	18.5名(定員25=70%)	19名(定員25=72%)
	⑤訪問介護	常勤3名+パート4名での体制作り 事業の拡大 日曜営業の検討	常勤3名+パート4名での体制作り 事業の拡大 効率性の重視	常勤4名+パート3名での体制作り 事業の拡大、タイムリーな対応
	⑥居宅事業	要介護:78件 予防:58件 136	要介護:78件 予防:58件 136	要介護:85件 予防:60件 145
	⑥包括事業	地域ケア会議20件以上目標	具体的な整備の充実	西谷地区に見合ったサービス対応
	⑦配食サービス	配達員の地域との連携と地域貢献 としての地域公益事業の明確化	配達員の地域との連携と地域貢献 としての地域公益事業の明確化	配達員の地域との連携と地域貢献 としての地域公益事業の明確化
	⑧各事業との定期的な打合せ	新たな加算対応にむけた対応の 整備	新たな加算対応にむけた対応の 整備	新たな加算対応にむけた対応の整 備
人材確保を図る。 人材確保のルート作り	①指導員の育成	介護プロフェッショナルキャリア段位制度 の基盤作りとリーダーのアセッサー受講	介護プロフェッショナルキャリア段位制度 の具体的な導入と評価者の能力	介護プロフェッショナルキャリア段位制度評 価者アセッサーの充実
	②ハローワーク	定期的な登録実施	定期的な登録実施	定期的な登録実施
	③福祉フェア参加	見込み学生の獲得とフォローアップ	見込み学生の獲得とフォローアップ	見込み学生の獲得とフォローアップ
	④各種学校の就職課とのルート 作り	各種学校の担当部署の訪問実施 実習生、ボランティア生の受入	各種学校の担当部署の訪問実施 実習生、ボランティア生の受入	各種学校の担当部署の訪問実施 実習生、ボランティア生の受入
働きやすい職場作りと 人材教育・育成に注力する。	①魅力ある職場作り	スーパーバイザー設置による職員 の風通しを良くする。	職員の離職率を下げる	職員の離職率を下げる
	②各委員会の活動充実と人 材見直し。	委員会の見直しと行動予定の確認	各委員会の行動計画に達成目標 を付ける	改善と目標意識の継続化
	③他施設(グループ内)との交流 研修	短期的に試みる	計画的に人選し実施	計画的に人選し実施
	④研修の計画的参加と社内 への展開	介護主任が中心になり教育案の計 画を作る	年度研修計画の作成	年度研修計画の作成
	⑤人事考課のフィードバック・ 個人目標管理計画による個人 指導	賞与の時期及び3月に個別面談を 行い人事考課時に指導していく	前年継続	前年継続
地域交流とボランティア との協力体制	①施設の広報活動	HPのタイムリーな更新 魅力ある施設PR 求人欄の充実	HPのタイムリーな更新 魅力ある施設PR 求人欄の充実	HPのタイムリーな更新 魅力ある施設PR 求人欄の充実
	②ボランティア(レクリエーション委 員会とのコラボ対応)受入	地域自治会への参画で地域との 繋がりを強化し施設ボランティアに参 加	前年継続と新たなボランティアグ ループの参加依頼	前年継続と新たなボランテアグ ループの参加依頼
	③地域自治会との交流・地域 ニーズの調査	地域包括との情報交換と地域催し への参加とボランティア受入	前年継続	前年継続

## 平成 31 年度事業計画(案)

社会福祉法人 宝成会

特別養護老人ホーム 宝塚シニアコミュニティ

短期入所生活介護 宝塚シニアコミュニティ

### 基本方針

平成 31 年度の特養スローガン「心に届ける笑顔と安心」を基に、利用者様へ言葉遣い(接遇)や職員への指導において、見直しを行い、利用者様が楽しみのある生活を過ごして頂けるように業務改善(外出、レクリエーションなど)に積極的に取り組んでいく。

業務改善については、職員一人一人が介護職員であるという自覚を持ち、日々の利用者様への関わり方(接遇)や余暇時間の充実を図り、外出行事・レクリエーション等を定期的に行い、楽しみある生活を過ごして頂く事を目標に実施していく。

新人教育体制については、教育担当職員を配置し、教育を行っていく。指導者においては、指導者としての能力向上、職員においては、介護職としての介護技術の向上を目指し、外部研修や施設内研修を今年度も継続し、行っていく。

### 課題

#### 1、業務改善

外出行事、レクリエーションについて、毎週第2、3日曜日においては、レクリエーション時間を作り、利用者様と共にゲームをしたりして楽しんで頂いている。

外出行事が定期的の実施できていない為、花見、紅葉以外にも外出行事を計画し、利用者様が楽しみある生活を過ごして頂く余暇時間を作る。

入浴業務に関わる職員の配置を見直し、入浴業務が時間通りに終了できる体制を作る。また、入浴日以外の日利用者様が楽しみある生活を過ごして頂く余暇時間を作る。(外出行事、レクリエーション等)

#### 2、経費削減

時間外業務の削減

適切な人員配置を行い、業務を効率よく行える体制を作る。

(送迎者の教育、SS荷物チェック方法、入浴体制等)

#### 3、教育体制

介護職としての介護技術向上

接遇内容の見直しと改善

研修体制の見直し、改善

マニュアルの見直し、改善を行い、統一した指導を行える体制を築いていく。

数値目標：特別養護老人ホーム

① 稼働率→96%

数値目標：短期入所生活介護

① 稼働率→100%

スローガン

「心に届ける笑顔と安心」

# 1、年間行事計画

	行事	クラブ活動	その他
4月	お花見	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食行事・ボランティア催し物 お楽しみ会
5月	遠足	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
6月	運動会 お茶会	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
7月	七夕会 西谷ふるさと祭り	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
8月	夏まつり	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
9月	敬老祝賀会	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
10月	芋掘り	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
11月	紅葉狩り 鍋を囲む会	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
12月	クリスマス会 餅つき	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
1月	新年祝賀会 初詣	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
2月	節分 バイキング	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
3月	ひな祭り	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会

## 2、年間会議、研修計画

	施設内会議・研修	施設外会議・研修
4月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・新人職員研修・全体研修・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
5月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
6月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・医療研修・口腔ケア研修	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会 兵庫県社会福祉協議会老人福祉施設新人職員研修 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
7月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
8月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
9月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 医療研修・口腔ケア研修・SS 会議	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会 兵庫県職業能力開発協会中堅社員研修 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修



10月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・新人職員研修・全体研修 口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 兵庫県職業能力開発協会リーダー研修 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
11月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議・SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
12月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 医療研修・SS 会議・口腔ケア研修	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
1月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
2月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
3月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 医療研修・SS 会議・口腔ケア研修	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会総会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修

### 3、日課表

時間	利用者	看護・介護職員
4時45分		巡回 排泄介助 仮眠終了(東フロア)
5時		排泄介助・体交
6時	起床	VS測定 点眼 配茶回収 PWC 清掃 離床 トイレ誘導 食堂へ誘導
7時		離床 モーニングケア 食堂へ誘導
8時30分	朝食	朝食介助 口腔ケア 着床
9時30分	入浴	朝礼・申し送り 排泄介助 離床 通院介助 入浴介助 一般浴(月・木)特浴(火・金) ショート(水・土)
10時	レク・クラブ活動	入浴介助 水分補給 環境整備 点眼 VS測定
11時		入浴介助(11:45迄) 内服薬準備
12時	昼食	昼食介助 口腔ケア
13時 30分	入浴	着床 回診介助(水) 排泄介助 入浴介助 特浴(月・木)一般浴(火・土) ショート(水・土)
14時		VS測定 離床 環境整備 入浴介助(15:00迄)
15時	おやつ・レク	間食介助 水分補給 軟膏塗布 ケース記録 PC 入力
16時 30分		看護・外科処置 点眼 申し送り 排泄介助
17時 30分		
18時	夕食	夕食介助 歯磨き介助 義歯預かり洗浄消毒
19時		着床 居室へ誘導 排泄介助
20時	入眠準備	眠前薬服薬確認
21時		VS測定
22時	消灯	巡回開始 排泄介助

23時 15分		巡回 仮眠開始(西フロア)
24時 15分		巡回
1時15分		巡回・体交
1時45分 2時15分		巡回 排泄介助
2時15分		仮眠終了(西フロア) 仮眠開始(東フロア)
3時15分		巡回・体交
4時15分		巡回

#### 4、週間業務

	AM	PM	適宜
月	入浴(車椅子浴、一般浴) 理学療法士指導(第2、4) 口腔体操	入浴(寝台浴、一般浴) リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
火	入浴(寝台浴、一般浴) 歯科衛生士口腔ケア 口腔体操	入浴(寝台浴、一般浴) リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
水	入浴(ショート) 口腔体操	入浴(ショート) 嘱託医回診(毎週) リハビリ体操・口腔体操 運動レク 散髪(第2水曜日)	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
木	入浴(車椅子浴、一般浴) 口腔体操	入浴(寝台浴、一般浴) リハビリ体操・口腔体操 運動レク	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
金	入浴(寝台浴、一般浴) 歯科衛生士口腔ケア 口腔体操	入浴(寝台浴、一般浴) 嘱託精神科医回診(隔週) リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
土	入浴(ショート) 口腔体操	入浴(ショート) リハビリ体操・口腔体操 喫茶(月2回)	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
日	ボランティア行事 体重測定(順次) 口腔体操	体重測定(順次) リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備

#### 4、月間定期行事予定

第1水曜日	ちぎり絵(偶数月)
第2水曜日	散髪
第4日曜日	誕生会
月2回(土曜日)	喫茶
不定日曜日	買い物行事・ボランティア行事

特養・短期入所 中長期計画表(2019年度～2021年度)(案)

- ・中長期的な計画として業務改善と人材育成(教育体制)に取り組んで行く。業務体制については入浴業務に時間をとられている為、問題点、改善点の抽出を行い、体制の整備を実施する。業務の体制を見直すことにより、ゆとりのある介護、利用者様の余暇の充実に
- ・指導者としての能力向上、介護職としての介護技術向上の為、研修体制の見直し、改善に取り組む。(中堅職員の教育を行う)
- ・マニュアル見直し、改善して統一した指導、ケアを行う。

2019年度	2020年度	2021年度
・業務改善	・業務改善	・業務改善
・人材育成(教育体制)	・人材育成(教育体制)	・人材育成(教育体制)
・入浴業務の見直し ・指導者の能力向上(中堅職員の指導) ・介護職としての介護技術向上 ・業務体制のマニュアル作成 ・研修体制の見直し、改善 ・内部の定期的な研修、外部研修の参加 ・新人教育マニュアル体制の整備	・入浴業務の見直し ・指導者の能力向上(中堅職員の指導) ・介護職としての介護技術向上 ・業務体制のマニュアル改善⇒統一したケ ・職員のレベル確認 ・新人教育マニュアルの体制に整備 ・内部の定期的な研修、外部研修の参加	・入浴業務の見直し ・指導者の能力向上(中堅職員⇒管理職員) ・介護職としての介護技術向上 ・業務体制のマニュアル見直し⇒統一したケ ・職員のレベル確認 ・研修体制の見直し、改善 ・内部の定期的な研修、外部研修の参加
数値目標(年間稼働率)	数値目標(年間稼働率)	数値目標(年間稼働率)
・特養 96% ・短期入所 100%	・特養 96% ・短期入所 100%	・特養 96% ・短期入所 100%

特養・短期入所 2019年度年間研修計画(案)

- ・研修に関しては医務室の医療研修とも連携し積極的に施設内研修を行う。事例検討会も合わせて行う。
- ・新人研修
- ・医療研修 年3回
- ・口腔ケア研修 月1回
- ・事例検討会議 随時

## 平成 31 年度 給食課事業計画

### 基本方針

施設での生活において、食事は、楽しみの大きな一つであり、安全・安心な食事を基本とし、新しい行事食や食事レクレーションを企画し、楽しめる機会作りに努める。

食中毒予防の為の安全・安心として、衛生管理の徹底、誤嚥を予防する為の安全・安心として、食材の硬さや咀嚼・嚥下しやすい食事形態を日々、評価し、見直していく。

「施設理念」を念頭に、給食課として、生きがいのある生活を大切にし、委託給食業者と協力を依頼し、御利用者様に喜んで頂ける企画を多職種にて検討し、実施していく。又、栄養ケア・マネジメントを多職種によるチームで進め、お一人おひとりに合った栄養改善、維持に努め、少しでも長く宝塚シニアコミュニティでの生活を送って頂けるように支援していく。

宝塚・三田地域での栄養管理連携パスを充実し、引き続き、栄養の情報共有を図っていき、又、栄養士同士の研修では、相談し合える栄養士仲間を構築し、他施設・病院との情報共有、自己啓発、知識の向上に努め、御利用者様にとって、信頼していただける食事を提供していく。

### スローガン

多職種によるチームプレーで、お一人おひとりに合った食事の提供

### 目標

- ・ 衛生管理についての知識向上を図り、日々の管理を徹底し、食中毒の予防に努める。
- ・ 旬の食材を積極的に取り入れ、季節を感じて頂く。
- ・ 日々の食事状況観察にて低栄養のリスクに早期に対応し、相談し合える雰囲気作りを心がけ、多職種によるチームプレーで、お一人おひとりに合った食事を提供していく。
- ・ 嚥下調整食を提供する為、委託給食会社と検討、実施。
- ・ 栄養管理連携ファイルを作成し、病院・施設間の栄養情報の共有を図る。
- ・ 地域の栄養士とのつながりを大切にし、自己啓発、知識向上に努める。

平成 31 年 2 月 14 日  
管理栄養士 吉田 朋子

平成31年度 特養 行事食予定一覧表

実施日	イベント名	実施内容
5月5日	子供の日	ちらし寿司、柏餅
7月7日	七夕	天ぷら盛り合わせ、冷やしそうめん
7月	夏祭り	たこ焼き、焼きそば、パンダ焼き等
9月	敬老祭	松茸御飯、天ぷら、茶碗蒸し等
9月23日	秋分の日	おはぎ
11月・12月	鍋を囲む会	鍋(ちゃんこ、石狩、寄せ、豆乳、カレー)
12月25日	クリスマス会	チキンライス、ハンバーグ、ケーキ等
12月31日	大晦日	年越しそば
1月1日～3日	正月	おせち料理、雑煮、天ぷら、ちらし寿司等
1月～2月	バイキング	いなり、巻き寿司、惣菜等
2月3日	節分	散らし寿司、甘納豆等
3月3日	雛祭り	散らし寿司、ひなあられ、甘酒、等
3月21日	春分の日	おはぎ
毎月1回	誕生日会	散らし寿司
	毎月1日	赤飯
毎月第2・4土曜日	喫茶日	ケーキ、コーヒー、紅茶

※上記以外に、月に1回以上、食事レクレーションを実施予定。

平成31年度 デイサービス 行事食予定表

月	日	行事名
4月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
5月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
6月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
7月	第3～4週	鍋を囲む会・アイスクリームパーティ
8月	第3～4週	鍋を囲む会・そうめんパーティ
9月	第3～4週	鍋を囲む会・たこ焼きパーティ
10月	第3～4週	鍋を囲む会・焼き芋パーティ
11月	第3～4週	鍋を囲む会・焼き芋パーティ
12月	第3～4週	忘年会 鍋を囲む会・おやつレク
1月	第3～4週	鍋を囲む会・ぜんざいパーティ
2月	第3～4週	鍋を囲む会・ぜんざいパーティ
3月	第3～4週	鍋を囲む会・豚汁パーティ

※新しい食事レクリエーションを、企画し実施予定。



## 平成31年度 事業計画案

社会福祉法人 宝成会  
特別養護老人ホーム  
宝塚シニアコミュニティ  
医務室

### 基本方針

介護を有する高齢者が個人としての尊厳が守られている介護を基本とし、人としての権利、基本的尊厳が擁護される施設作りを目指していく。介護を受けながらも残存機能を活用し、自己で判断、決定、実行ができるよう訴えを傾聴し、援助しながら、利用者本人が望む生きがいのある生活を送る事が出来るように、温かみと笑顔のある施設作りを目標としていきたい。利用者の声・家族の声・地域の声に耳を傾け、その声を施設運営に活かしていく。又、積極的に地域と交流し、連携を図っていくことで絆を深めていくことが大切であると考えます。

職員は常に学ぶ意識を持ち、研鑽を重ね、個別的な看護・介護が実施できるよう、業務に取り組む姿勢を持つ。看護師は専門的知識と的確な判断力を備え、利用者の早期対処に努め、重症化させない対応を実践する。職員間での情報の共有を図り、看護師・介護職はお互いを信頼し、協調性を持ち、和やかな環境の下で、節度のある職場作りを目指していきたい。

### 課題

1. 利用者の健康管理、維持に努める。
2. 研修会に参加し、報告会の実施（他職員へのフィードバック）
3. 業務運営の推進（マニュアルの見直し・改定、業務手順作成）
4. 他施設・地域と交流し連携を図る。
5. 医療事故の防止。

### スローガン

「個々の利用者をアセスメントし、ニーズに応じた看護を実践する」

医務室 中期計画表（平成31～33年度）

宝塚シニアコミュニティ 医務室

- ・中長期的な計画として今後医療依存度の高い利用者の増加に伴い治療の目的が「治癒」では無く日常生活への「適応」であるケースが増加してくる。医療モデルではなく生活モデルの視点が大切 介護職員との連携が大切であり情報共有としてマニュアル等の見直しが必要。
- ・看護職員による介護職員に対する教育を定期的実施 今後増加してくる医療依存度の高い利用者の受け入れに対して 対応可能にしていくことが必要。
- ・入院者ならびに総入院日数の減少 昨今は高齢者の急性期的な状態変化による入院は減少も慢性的な疾患の増悪による長期入院のケースが多かった。日々の健康管理にて異常の早期発見につとめると共に 出来る限り施設で疾患に適応した生活が継続できるように援助していき 入院率の減少につとめる（直近3カ年 入院率 4.6%～5.6%）

平成31年度	平成32年度	平成33年度
マニュアルの整備	マニュアルの整備	マニュアルの整備
マニュアルの更新 見直し 算の取れる体制作り（オンコール・摂食嚥下 介護職員等に対する医療知識の啓発（吸引） 自己啓発の促進	マニュアルの更新 見直し 加算の取れる体制作り 介護職員等に対する医療知識の啓発 自己啓発の促進	マニュアルの更新 見直し 加算の取れる体制作り 介護職員等に対する医療知識の啓発 自己啓発の促進
医療研修	医療研修	医療研修
年6回の研修継続	年6回の研修継続	年6回の研修継続
数値目標	数値目標	数値目標
入院率5%以下	入院率5%以下	入院率5%以下

平成 31 年 2 月 16 日

## 平成 31 年度 通所介護事業所事業計画

社会福祉法人 宝成会  
宝塚シニアコミュニティ  
通所介護事業所

### 基本方針

「生涯在宅を目標に、運動機能回復による顧客満足度の向上」をスローガンとし、1 日平均 17.5 名、稼働率 70% を目標に掲げます。  
利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行い、生活機能の向上・維持を図ります。  
新たに様々なレクリエーションやサービスを追加・考案し利用者の皆様が落ち着かれ満足できる楽しいひとときを提供していきます。

### 課題

#### 1) 利用率の増加

ご利用者数の増加を図るべく居宅介護支援センターと連携し、小まめな情報提供（1 か月に 1 回以上の訪問、電話連絡）を行います。  
また、ご利用者様に満足して頂ける対応（気軽に利用出来る、希望に沿う柔軟な対応）、サービスの提供を行います。

#### 2) 個別機能訓練加算Ⅱ

一人一人にあった機能訓練を看護師と相談しながら、生涯在宅を目標に援助します。

#### 3) 地域との交流

地域との交流を積極的に行うことにより（ボランティア様の活用など）地域に開かれた事業所として認知されるように共生に向けた取り組みを行います。

平成31年2月16日

宝塚シニアコミュニティ通所介護事業所中期事業計画

社会福祉法人 宝成会  
宝塚シニアコミュニティ  
通所介護事業所

年度	事業計画	目標利用率 (年平均)	職員、パート	設備等
2019年	<ul style="list-style-type: none"><li>新規獲得平均1.8名/月を目標</li><li>運動機能加算算定</li><li>離職率0%継続</li><li>パートスタッフの補充、育成</li><li>地域福祉資源との連携継続</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>70% (25名定員)</li><li>目標：平均18名</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>外部研修の積極的参加 (1回/1ヶ月)</li><li>内部勉強会の開催 (1回/3ヶ月)</li><li>他部所との異動</li><li>他部所との交換研修</li><li>各スタッフの資格取得</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>配管工事</li></ul>
2020年	<ul style="list-style-type: none"><li>新規獲得平均2.0名/月を目標</li><li>運動機能加算算定</li><li>離職率0%継続</li><li>パートスタッフの補充、育成</li><li>地域福祉資源との連携継続</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>70% (25名定員)</li><li>目標：平均18.5名</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>外部研修の積極的参加 (1回/1ヶ月)</li><li>内部勉強会の開催 (1回/3ヶ月)</li><li>他部所との異動</li><li>他部所との交換研修</li><li>各スタッフの資格取得</li></ul>	
2021年	<ul style="list-style-type: none"><li>新規獲得平均1.8名/月を目標</li><li>離職率0%継続</li><li>スタッフの育成</li><li>地域福祉資源との連携継続</li><li>加算の追加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>72% (25名定員)</li><li>目標：平均19名</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>外部研修の積極的参加 (1回/1ヶ月)</li><li>内部勉強会の開催 (1回/3ヶ月)</li><li>他部所との異動</li><li>他部所との交換研修</li><li>各スタッフの資格取得</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>浴室内リフレッシュ工事</li><li>機械浴の交換</li></ul>

H31年度通所介護日課表

H31年2月16日  
 社会福祉法人 宝成会  
 宝塚シニアコミュニティ  
 通所介護事業所

時刻	お客様のスケジュール	スタッフのスケジュール
8:30		職員、パート出勤 当日のキャンセル受付 (8:45まで) 受け入れ準備 スタッフミーティング
8:35	迎え出発 (9:20までに帰館)	送迎介助
9:20	到着次第バイタルチェック 随時、入浴開始	到着順にバイタルチェック (NS) お茶出し
9:40	朝の朝礼	スタッフの朝礼
9:50	入浴待機、入浴しない方については、話相手 VTR鑑賞、手芸、ゲートボール等を提供	入浴介助・処置 (NS) フロア待機者についてはコミュニケーション 水分補給・ドライヤー
11:45	トイレ誘導、おむつ交換	排泄介助
12:10	雑談会	昼食準備
12:15	昼食 うがい 休養・娯楽	食事介助 与薬・下膳 うがい コミュニケーション
	トイレ誘導、おむつ交換 ゲートボール、ベッド臥床、TV鑑賞 個別レクリエーション	排泄介助
14:00	デイルームでの水分補給	水分補給 NS、職員、ケース記入
14:15	日常生活動作訓練、個別機能訓練	運動指導、介助
14:50	館内での歩行訓練	
15:15	トイレ誘導、おむつ交換	排泄介助
15:20	おやつ	おやつ準備 お茶出し
15:40	水分補給 レクリエーション	
16:20	トイレ誘導、おむつ交換 頭脳レク	排泄介助 頭脳レク対応
16:50	送り出発	送迎介助
17:00		館内除菌・片付け・翌日準備 車両除菌
17:30		職員、パート業務終了

休憩時間

- パート 1 (12:00~13:00)
- パート 2 (13:00~14:00)
- 職員 1 (12:15~13:15)
- 職員 2 (13:15~14:15)
- NS (13:00~14:00)

## 平成31年度 宝塚シニアコミュニティ通所介護事業所 年間行事計画表

	会議	行事	点検、衛生等	研修、訓練等
4月	通所介護会議 ケアカンファレンス	花見外出 屋外での生活動作訓練 誕生会	機器点検	全体会議 ディ会議
5月	通所介護会議 ケアカンファレンス	屋外での生活動作訓練 誕生会	害虫駆除	自主防災訓練 ディ会議 スタッフ研修
6月	通所介護会議 ケアカンファレンス	屋外での生活動作訓練 誕生会	冷暖房点検	ディ会議
7月	通所介護会議 ケアカンファレンス	七夕祭り 屋外での生活動作訓練 誕生会	受水槽点検	ディ会議 スタッフ研修
8月	通所介護会議 ケアカンファレンス	夏祭り 屋外での生活動作訓練 誕生会	職員健康診断	ディ会議
9月	通所介護会議 ケアカンファレンス	敬老会 屋外での生活動作訓練 誕生会	ボイラー点検	ディ会議 スタッフ研修
10月	通所介護会議 ケアカンファレンス	運動会 屋外での生活動作訓練 誕生会	自動扉点検	自主防災訓練 ディ会議
11月	通所介護会議 ケアカンファレンス	文化祭 誕生会 屋外での生活動作訓練 紅葉外出	浄化槽、下水道 点検	ディ会議 スタッフ研修
12月	通所介護会議 ケアカンファレンス	屋外での生活動作訓練 誕生会	大掃除 送迎車両冬支度	ディ会議
1月	通所介護会議 ケアカンファレンス	誕生会	機器点検	ディ会議 スタッフ研修
2月	通所介護会議 ケアカンファレンス	節分 誕生会	昇降装置点検	ディ会議
3月	通所介護会議 ケアカンファレンス	ひな祭り 誕生会		ディ会議 スタッフ研修

## 平成 31 年度 訪問介護事業計画

社会福祉法人 宝成会  
宝塚シニアコミュニティ  
訪問介護

### ・基本方針

利用者の尊厳、基本的人権を尊重し専門職として自覚をもち住み慣れた家で安心して自立した生活できるように身体介護、生活援助をご支援させていただきます。また、そのご家族と共に利用者様に対しより良い介護方法の提供や相談等を受け自立に向けたサービスを提供する。

### ・中期事業計画

- ・ サービス内容の質を確保するため、ケアプランに基づき、よりきめ細やかなサービスを提供する。
- ・ 統一した支援や介護ができるよう、介護技術の自主研修や調理実習を行う。
- ・ 潜在能力を引き出し、機能低下の予防を図り自立に向けた支援を行う。
- ・ 新規利用者の拡大に努める。

### ・目標の設定

#### 2019 年

ケアプランに添った訪問介護計画書を作成・同意を得、利用者、利用者の家族にとって安心できるサービス提供を行う。

#### 2020 年

利用者の生活再建に役立つ支援を行い、あきらめから可能性へつなげるサービスを行う。

#### 2021 年

利用者が出来る事を維持継続し、ゆとりある生活を送れるように専門性の高いサービス提供に努める。

### ・スローガン

やさしさと尊敬の心を忘れず、笑顔で接する訪問介護

## 平成 31 年度配食サービス事業計画

社会福祉法人 宝成会  
宝塚シニアコミュニティ  
配食サービス

### ・基本理念

住み慣れた地域で安心して在宅生活が維持できるように支援することを目的に在宅の高齢者を定期的に訪問し安否と栄養のバランスの摂れた食事を提供致します。

### ・中期事業計画（案）

- ・配食事業を知らない人に広報する取り組みが必要。  
パンフレット作成配布など
- ・32 年度に市の委託事業終了後の体制整備

### ・目標の設定

2019 年

報・連・相の周知徹底を図り、統一されたサービスを提供する。

2020 年

お客様の思いや変化に気づき、関係機関に連絡等を速やかに行う。

2021 年

美味しく安心して召し上がって頂くために、ご利用者の食事形態に合わせて調理及び盛り付けの工夫を行う。

### ・スローガン

お客様の笑顔を拝見し、まごころ込めたお弁当を配達します。



## 平成 31 年度事業計画

社会福祉法人 宝成会  
特別養護老人ホーム  
宝塚シニアコミュニティ  
居宅介護支援事業所

### 1、基本方針

介護支援専門員として、在宅で生活している方々の相談に応じ、介護サービスの利用調整や関係者間の連絡等適正に行い、利用者の心身の状況に合わせ、自立した日常生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会や家庭において利用者自身の権利や意見が主張できるよう配慮するとともに、援助を通して利用者及び家族等との信頼関係を構築していきます。

### 2、スローガン

- ・利用者一人一人のできることに視点を置き、ケアプランを作成する。
- ・サービス提供事業者・主治医・保険者等との適切な連携を図る。

### 3、計画内容

#### ①各市各地域の情報収集に努める

- ・各包括支援センターへの定期的な連絡と訪問をおこなう。
- ・宝塚市・三田市・猪名川町の事業者協会事業に参加する。
- ・事業所内会議の開催による（月 1 回）情報の共有をおこなう。

#### ②アセスメントは、ICF の考えを基本に、その人を深く知るよう努め、居宅サービス計画書に反映させる

- ・サービス担当者会議を適切におこない事業者間の連携を図る。
- ・毎月の自宅訪問を行い、評価をおこなう。

#### ③法令を順守し、個人情報管理・利用は適切におこなう

#### ④主治医、訪問看護事業所、入院医療機関、調剤薬局等との連携を図り、入院時の情報提供をおこなう

#### ⑤苦情ゼロの実現を目指す

- ・苦情に関しては、利用者・家族の立場に立ち、迅速、丁寧、的確に対応する。

#### ⑥介護支援専門員としての資質の向上に努め、各自積極的に研修に参加し、情報・知識の習得に努める

- ・研修 宝塚市介護保険事業者部会（年 3 回）  
居宅介護支援事業者部会（年 6 回）  
宝塚市、三田市、猪名川町の研修

- ・情報 月間「ケアマネジャー」の購読  
厚生労働省、兵庫県、日本介護支援専門員協会のHPからの情報、行政からの情報
- ・H.31年度主任介護支援専門員取得1名・ケアマネ更新研修1名受講する。

⑦ 健全な事業所運営を行い事業所減算に該当しないようにする

- ・各利用者個人ファイルに、自主点検確認票を挟み、各自で毎月書類不備有無の確認を行う。さらに、月に1回居宅会議にて内部チェックを行う。

4、利用者確保による数値目標の達成

H31年度目標給付管理件数 121件

- ・要支援給付管理件数 45件（常勤換算でケアマネ1人 12件）
- ・要介護目標管理件数 76件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援	24	27	30	33	36	39	42	45	45	45	45	45	456
介護	61	62	63	64	65	66	68	70	72	74	76	76	817
合計	85	89	93	97	101	105	110	115	117	119	121	121	1,273

5、中期（3カ年）計画について

2019年度は、不備のない書類作成力を習得し、確実に加算を算定していく。

目標給付管理件数は、 121件

- ・要支援給付管理件数 45件
- ・要介護目標管理件数 76件

2020年度は、主任介護支援専門員取得1名（計2名）となる。

特定事業所加算Ⅱを申請・取得する。

目標給付管理件数は、 145件

- ・要支援給付管理件数 45件
- ・要介護給付管理件数 100件

2021年度は、西谷地域のスーパーバイザーとして地域包括支援センターと協働し、地域の総合相談事業が行えている。

目標給付管理件数は、 169件

- ・要支援給付管理件数 45件
- ・要介護給付管理件数 124件

# 平成 31 年度事業計画

## 西谷地域包括支援センター

### 1. 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある、その人らしい生活を継続することができるよう、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的かつ継続的に支援することを目的とする。

### 2. 目標

<スローガン>

「地域包括ケアシステムの実現を目指して、地域包括ケアの拠点となる」

### 3. 課題と取り組み

<課題>

住民の高齢化に伴い、自助と互助の機能にいくつかの問題が見え始めている。ここ数年の間に助ける側も、助けられる側も高齢化してきており、これまでできていたこと(通院、買い物等)ができにくくなってきている。それにより在宅生活におけるさまざまな活動にも支障をきたし始めている。

<課題に対する取り組み>

西谷地域の高齢者が抱える問題を、これまで把握できていなかった方も含めて、できるだけ多くの住民から聴きとる作業をおこなっていく。

地域で生活する上での現状ニーズ(要望)を整理することで、西谷地域で生活していく上での必要な取り組みが明らかになるのではないかと考えている。抽出された課題の解決策の1つは、地域自治会等の公的な場に課題を提示することで、それにより地域住民と共に課題解決に向けた取り組みを進めていくことができると考えている。

#### □2019 年度の見通し

生活機能が低下している、あるいはそのおそれのある高齢者を早期に把握し必要な支援につなげる。そのために積極的に地域に出向き、アウトリーチ(訪問支援)をおこなう。把握した課題については、地域ケア会議等で各専門機関と連携を図りながら解決に向けた取り組みをおこなっていく。地域包括ケアシステムの実現に向けたネットワークの構築が進められている。

#### □2020 年度の見通し

地域包括ケアシステムの構築が進むとともに、専門職等からの新たな視点や支援が取り入れられ、住み慣れた地域での在宅生活がこれまで以上にしやすくなっている。地域住民の多くが認知症という病気を理解し、認知症者とその家族を支える対応力がアップしていくことで、互助の関係を深め認知症になっても住み続けられる地域を目指していく。自立支援型地域ケア会議の充実により、QOL の向上及び自立支援に向けた働きかけができています。

#### □2021 年度の見通し

認知症に関する住民の知識と理解が深まり、地域住民は認知症になっても住み慣れた地域で生活ができています。高齢者になっても個々の役割が持て、それらが発揮できる居場所が、無理なく利用できるエリア内に設置されている。自立支援型地域ケア会議の充実により、要介護状態になることを防ぎ自立した生活が続けられている。

以上

# 平成 31 年度事業計画

社会福祉法人 宝成会  
介護老人保健施設  
加西シニアコミュニティ  
居宅介護支援事業所

## 基本方針

高齢者の居宅における日常生活を支援する事を目的とし、利用者・家族が自らの意思に基づき介護サービスの選択をできる様、説明を行い利用者・家族の希望を踏まえた介護サービス計画を作成し、利用者が安心をして適切なサービスを受けられるようにまた質の高い生活を過ごせるように支援する。

## 課 題

1. 質の高いサービスを提供し選ばれる事業所を目指す
2. 特定事業所加算Ⅱの維持
3. 介護支援専門員の資質向上(研修参加)
4. 介護支援専門員の増員
5. 定期的なアセスメントと継続性のあるモニタリング
6. サービス実施体制におけるマネジメントの情報提供と秘密保持
7. 地域の各関連事業所との連携
8. 老人保健施設からの在宅復帰者支援(未永い在宅生活を支援)
9. 地域貢献 ①地域社会福祉法人連携による活動  
②地域住民介護予防・相談活動

# 平成31年度事業計画詳細

社会福祉法人 宝成会  
介護老人保健施設  
加西シニアコミュニティ  
居宅介護支援事業所

## 基本方針

高齢者の居宅における日常生活を支援することを目的とし、利用者や家族の希望に基づいたサービスが多様な事業者から選択できるように情報提供を実施します。

また、特定事業所加算を取り、24時間体制、ケアマネに対する計画的な研修と、見学実習生の受け入れを実施しケアマネの資質向上に努めます。

## 課題

- 1、 4月から介護支援専門員がもう一人増えるため、事業所強化を図り、各病院の地域連携室、地域包括支援センターとの連携を図り、新規利用者の確保に努めます。  
老人保健施設併設の居宅介護支援事業所として、在宅復帰される利用者に対しても、密に連携を取る等在宅復帰時には安心してサービス利用が出来るように努めます。  
また、今まで開拓していなかった他事業所のデイサービス等からも新規ケースが紹介して頂けるように誠意を尽くします。
- 2、 新規ケース獲得後は介護保険制度の説明を実施し、利用者が不安なく制度に沿って速やかに利用ができるように支援します。
- 3、 利用者個々の支援に従事し、特に入院時、退院時の医療と介護の連携を密にし、安心した在宅生活を送れるように努めます。
- 4、 定期的に訪問することで、利用者に変化が見られた場合は必要に応じて、速やかに担当者会議を開催し、計画の変更を検討するとともに各事業者との連携を図ります。
- 5、 利用者、家族との信頼関係を構築し、小さなことでも相談しやすい雰囲気作り  
に努め、利用者、家族の意向を考慮し、実現可能な計画を作成することにより、本人の意欲を見出し、住み慣れた地域で自立した生活ができるように支援します。
- 6、 利用者宅を訪問する時は明確かつ簡潔に利用計画の進行状況の説明やご自宅での生活状況の把握(アセスメント)に努めるとともに、運営基準の順守のもと、個人情報の秘密保持に努めます。
- 7、 地域の関連事業所とは日頃より情報の共有を実施し、幅広く知識を得る努力をします。  
総会や研修会等、積極的に参加し、ケアマネの資質向上及び利用者様が自分らしい自立した生活を送れるように努力します。
- 8、 支援困難事例については一人で問題を抱え込まず、週に1回の事業所内会議で事例検討を行い、また地域包括、各事業所の相談員等と連携を図り、問題の解決に努めます。

# 平成 31 年度事業計画

社会福祉法人 宝成会  
介護老人保健施設  
加西シニアコミュニティ

## 基本方針

1. 施設サービス計画に基づいて、看護・医学的管理の下における介護及び機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活上のお世話を行うことにより、入所者の方の能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするとともに、居宅における生活への復帰を目指す。  
また、要支援者が可能な限りその居宅において、その有する能力の維持・改善を図り自立した日常生活を営むことができるよう、看護、医学的管理下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行うことにより、療養生活の質の向上及び利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。
2. 入所者の意思及び人格を尊重し、常に入所者の立場に立って介護保健施設サービスの提供に努める。
3. 明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い市町村・居宅介護支援事業者・他の保健施設その他の保健医療サービスの提供者と密接な連携に努める。

## 課 題

1. 職員教育を強化し、質の高いサービスを提供することにより選ばれる施設を目指す
2. 在宅復帰の促進(住み慣れた地域でより長く在宅生活を)
3. リハビリの充実により在宅復帰を促進(リハビリ職員)
4. 地域包括ケアシステムの実践
5. 医療・保健・福祉の関係機関、地域との連携強化
6. 地域貢献 ①地域社会福祉法人連携による活動  
②地域住民介護予防・相談活動
7. 地域の防災拠点となる(福祉避難所)

## 平成31年度入所事業計画詳細

社会福祉法人 宝成会  
介護老人保健施設  
加西シニアコミュニティ

### 基本方針

老人保健施設としての役割をしっかり守り  
多様化するニーズに応えられるよう職員が  
協力し安心、楽しい療養生活を提供します。

### 課 題

- 1、 多様化するニーズに応えるために部署独自での研修などを実施し  
各職種が協力しながら安心した療養生活を提供できるよう研鑽します。
- 2、 長期的に療養されている方でも在宅の想いがあれば御家族と話し合い  
自己実現できるよう援助技術を高める。
- 3、 年間行事の内容を見直し療養者様に楽しい時間を過ごして頂き  
内面からの活性化を図ります。
- 4、 市内のみならず近隣の市町村の事業所とも連携を図り他地域からのご紹介も  
円滑に対応できるよう関係の構築を図ります。
- 5、 地域包括ケアシステムの一端を担い地域の中での役割を達成できるよう技術を上げ  
地域の方に安心かつ気軽に利用して頂けるよう接遇研修など行う。
- 6、 年々、重度化する入所者の方が生き甲斐を持ち、地域の中で尊厳を持ち続け  
自己の思う生活ができるよう各事業所とも連携しその実現に努める。
- 7、 低離職率を維持すると共に療養者様、職員共に「生きる場所」になるよう努力し  
楽しい時間を共有できるよう一緒にレクリエーションなども行います。



## 平成31年度事業計画詳細

社会福祉法人 宝成会  
介護老人保健施設  
加西シニアコミュニティ  
通所リハビリテーション

### 基本方針

☆職員は、利用者の皆様に対し優しさ・明るい雰囲気を提供し、安心してサービスを利用できる環境づくりを行う。

☆利用者・家族・地域が必要とするニーズに対して、可能な限り挑戦し、実現できるよう工夫と努力を行う。

### 課題

- 1、 明るく家庭的な雰囲気を有し、利用者との結び付を重視したサービス提供を行う。
- 2、 医学博士、理学療法士、作業療法士が利用者の声に耳を傾け、安心して“その人らしく”幸せに生活を送れるようにリハビリ提供を行います。
- 3、 各居宅介護支援事業所、地域包括支援センターと相互協力し、利用者のニーズに対して、最適なサービスを提供する事で、利用者・家族・事業所の信頼を高め、選ばれる通所リハビリとなる。
- 4、 現状のサービス提供(イベントやレクリエーションを含む)に満足せず、新しい事へ挑戦を続ける。
- 5、 利用者・家族・地域の様々なニーズに対応できる職員を育成する為、施設内・外の勉強会や研修に積極的に参加し能力向上を目指す。
- 6、 最先端技術導入に向けて模索を行い  
利用者のリスクマネジメントや新たな介護技術構築を  
目的に導入・検討を行うとともに、  
導入支援の補助金・助成金について情報収集を行う。

# 平成 31 年度事業計画

社会福祉法人 宝成会  
介護老人保健施設  
加西シニアコミュニティ  
通所リハビリテーション

## 基本方針

1. 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って通所リハビリテーションサービスの提供に努める。
2. 事業の目的を達成するため、リハビリテーションを中心に明るく家庭的な雰囲気の中で、その有する能力に応じまた、能力の維持・改善を図り自立した日常生活を営むことができるようサービス提供を行い、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

## 課 題

1. 職員教育を強化し、質の高いサービスを提供することにより選ばれる施設を目指す
2. リハビリの充実により末永い在宅生活を支援(リハビリ職員増員)
3. 老人保健施設からの在宅復帰者支援
4. 居宅サービス計画に沿った、計画作成とサービス提供
5. 居宅介護支援事業所・地域との連携強化
6. 地域貢献 ①地域社会福祉法人連携による活動  
②地域住民介護予防・相談活動
7. 地域の防災拠点となる(福祉避難所)